



つみき新聞

令和7年度 第1号

【発行】社会福祉法人つみき

【住所】〒114-0022

東京都北区王子本町1-19-1

【電話】03-3908-7166

『つみき運動会』を開催しました!!

3月25日(火)、障害者スポーツセンターの体育館で、『つみき運動会』が開催されました。

かつて、つみきは旧・王子第二養護学校の校庭や体育館を借りて、運動会を開催していた歴史があります。当時は、親御さん・ご家族も参加する“家族行事”として行われていました(※詳しくは『つみき創立50周年記念誌』をご覧ください)。

時は経ち、時代も変化し、つみきを取り巻く環境も大きく変わった今、職員および火曜日利用の学童の子たちに限られたものの、およそ20数年振りの運動会の復活！となりました。

本当は、去年の10月1日(火・都民の日)に、障害者スポーツセンターの陸上トラックを借りて開催する予定でしたが、悪天候のため延期となりました。それでも、運動会実行委員長を務めたつみき第2分室職員・山守さんを中心に、委員の皆さんが検討を重ね、この日の開催に至った経緯があります。皆さん、本当にお疲れ様でした！

当日はリレーと大玉転がしを行い、おおいに盛り上がりました。今年度も冬休みか春休みの開催を目指して、委員の皆さんが計画を進めています。

昔とは比べものにならないほど、たいへん大きな規模になり、全員での参加もなかなか難しい現状はありますが、長いブランクを経て復活した“つみきの伝統行事”運動会を、これからも続けていけたらと思います。



たで本と
めす当合火閉
に。にわ曜会
に、参規せ日
別加模てのの
日でがこ学あ
でき大れ童と
もなきだのに
体かくけお撮
育つなの子影
館たつ人ささ
活他た数んれ
動のなが限た
を曜あ！定集
行日：！な合
いのとの写
ま子ビに、真
したッ、職
たちク（左
のりの員）

職員さんインタビュー

つみきで働いている職員さんに、インタビューをしました。現在、社会福祉法人つみきの職員数は総勢80名を超えています。今回は代表で4名の職員さんに、お話をうかがってきました。

岩元 孝之(いわもと たかゆき)さん

【つみき第5】児童指導員・勤続7年目

▶この仕事をするうえで得意なことは何ですか？

「人と仲良くなりやすいところには自信があります。人に対しての好き嫌いがあまりないタイプなので、だいたいの人とは仲良く付き合うことができます。なので、職場の人たちとも仲良くなって、円滑なコミュニケーションをとることで、一丸となって支援にあたることができると思います。包容力があるほうなのかな(笑)。」

▶この仕事のどんなところにやりがいを感じていますか？

「入職時の面接のときにも答えたんですけど、子どもの成長にかかわれるところにやりがいを感じます。子どもの成長・発達にかかわることができる、それがしくてこの仕事についたので、それが一番のやりがいですね。」

▶ご自身の事業部(つみき第5)の特徴や特色を教えてください。

「第5に移動して、今年で6年目になりますが、ここは重心の事業部で、他のところに比べると少人数なので、外出活動がとてもしやすいです。外出活動が多いのは第5の特色だと思います。いろいろ失敗もありましたけど(笑)、職場環境にもすっかり慣れて、今はとても充実しています。」



大場 文美子(おおば ふみこ)さん

【つみき第3】児童指導員・勤続4年目

▶この仕事をするうえで得意なことは何ですか？
「絵を描くこと、歌うことを強みにしています。また、利用者の皆さんが好きなものを把握したり、流行には乗れるように頑張っています！」

▶この仕事のどんなところにやりがいを感じていますか？
「ふと振り返ったときに、利用者さんの成長を感じられることです。また、自分の身長を抜いて大きくなってくると嬉しく感じます(笑)。」

▶ご自身の事業部(つみき第3)の特徴や特色を教えてください。

「つみき第3は支援級、普通級の利用者さんと一緒に活動しています。皆さん自分の好きなもの、今日あったことなどたくさん話をしてくれるので耳が足りなくなることもしばしばあります(笑)。活動では学年も学校も違う子たちが仲良く遊んだり、同じ好きなものの話で盛り上がっている姿を見て、いつも嬉しく感じています。利用者さんの成長を感じながらも、自分自身も利用者さんに成長させてもらっていることもたくさんあります。職員同士はよく話ができて、情報共有も円滑で楽しくお仕事をさせていただいています。今後も、利用者さんをはじめ保護者の皆様にも安心して通っていただけるつみき第3を目指していきます。

岩城 朱里(いわき あかり)さん

【つみき相談室／つみき第8】児童指導員・勤続3年目

▶この仕事をするうえで得意なことは何ですか？

「第8でも相談室でも共通して言えるのは、その子の今の発達段階や現況を見る力、“アセスメント力”はあるほうだと思います。」

▶この仕事のどんなところにやりがいを感じていますか？

「子どもたちが、以前できなかったことがちょっとでもできるようになった(成長を目の当たりにできた)瞬間に、この仕事をやっててよかったなと感じます。例えば？…相談支援だと、半年前はお家ではこうだったけれども、今では成長して課題が改善されて、お母さんの負担が減ったとか、第8だったら、以前は座って待っていることが苦手で立ち歩きが多かった子が、座って待てるようになって、集団活動にもきちんと座って参加できるようになっていたりとか、そういうときですね。」



▶直接支援と相談支援を兼務するメリットや、気を付けていること等あったら教えてください。

「メリットは、その子を将来的な目で、ライフステージを見据えた様々な視点でみられるところです。気を付けていることは、相談支援は中立的な立場で一步離れたところから見る、ということ意識していて、第8で直接支援をしているときとは距離感が違うので、そこには気を付けています。」

山守 旬(やまもり ひとし)さん

【つみき第2分室】保育士・勤続6年目



▶この仕事を始めたきっかけを教えてください。

「仕事どうしようかな…と進路を考えていたときに、母親が病院に勤めていまして、その病院に音楽療法の方がいらっやっていたそうなんです。僕は音楽が好きで楽器が弾けるので、音楽療法なら得意なことを活かせるんじゃない？と母親からアドバイスをもらって、まずは音楽療法の専門学校に通い始めました。その実習先がたまたまつみきだったんです。つみきでの実習が楽しかったので、ここで働きたい！と思ってアルバイトを始めたのがきっかけです。」

▶この仕事をする上で得意なことは何ですか？

「ギターを弾いて子どもたちを笑顔にすることです。」

▶この仕事のどんなところにやりがいを感じていますか？

「子ども・職員含めて、活動に参加している人が盛り上がって楽しかった瞬間です。」

▶ご自身の事業部(つみき第2分室)の特徴や特色を教えてください。

「部屋が広いので、みんなで思いっきり元気に歌って踊れるところです(ご近所からの苦情は今までありません！)。」

▶つみき新聞の読者のみなさんに一言お願いします。

「いつもありがとうございます。利用者さんがつみきに来た日には、せっかつみきに来たんだから、家にいてはできない友達との活動や体験をたくさん楽しんでもらえるように、これからも頑張っていこうと思います。これからもご支援・ご協力よろしくお願いいたします。」

歯のかぶせ物が取れながらも(笑)快くインタビューを受けてくれた山守さん、そして岩元さん・大場さん・岩城さん、どうもありがとうございました！



【ご寄付のお振込み先】

銀行名：ゆうちょ銀行
店名：〇一九(ゼロイチキュウ)
預金種目：当座
口座番号：0696926
口座名義：フク)ツミキ

▼ご寄付は一口¥2,000-からとなります。

▼つみき新聞へのお名前の掲載を希望されない方は、あらかじめ事務局までお申し出ください。

【つみき事務局：03-3908-7166】

つみきの支援・活動にご協力・ご助力をくださり、
誠にありがとうございます。
職員一同、心より御礼申し上げます。